

# 図書館だより 100号記念 特別号

令和3年の10月号で図書館だよりが平成25年4月の刊行から100号を数えることとなりました！！

図書館のことを知ってもらいたい、様々な情報をお伝えしたいということで図書館だよりの発行を始めました。

これからも皆様により良い情報をお届けできるようにしていきます。

こんな記事が読みたい等ありましたら、お気軽にご意見箱へお書きください。

今回の図書館だより刊行100号を記念して、教育委員会の伊佐治教育長にコラムの執筆をお願いしました。

## 「図書館へのエール」

教育委員会 教育長  
伊佐治 裕子

図書館だよりに寄稿してほしいとの依頼をお受けしたものの、いざ原稿を書こうとすると、様々な思いが駆け巡って、なかなかテーマを絞ることができません。それだけ、私にとって図書館とは、自身の若き日の苦闘の舞台であり、だからこそ自分を育ててくれた職場でもあります。

私は、1983年に松本市役所に入所、図書館に配属されました。以降38年間の市役所生活の中で、通算14年間を図書館の司書として過ごしました。振り返ると、入所当時、本館とあがたの森の分館合わせて2館だった図書館が、西部（現在の鎌田）、南部、寿台、本郷と分館を次々と整備。同時に平成2年南部図書館に初めて入ったコンピュータシステムを全館に広げ、どこで借りてどこで返してもよいという図書館システムを構築していった時期でもあります。

分館が急激に拡大したこともあり、全体の職員の約3分の2が非正規職員、市役所でも最も速く行革が進んだ職場だったように思います。そんな中、正規、非正規関係なく、スタッフ一丸となって質の高い図書館サービスを提供しようと、マニュアルを作成して研修を行ったり、サービス部門別の勉強会を開催したりと、若さゆえ未熟でしたが、がむしゃらに取り組んできた思い出があります。（でもなぜか、図書館勤務という、暇でいいねとか、本が読めていいね、などと言われてしまうんですよね。違いますから全然！）

辛いこともありました。常に支えになったのは仲間（ほとんどが若い女性）のチームワークでした。互いを思いやって仕事をしていくことの大切さや、皆で大きなプロジェクトを乗り越えたときの達成感。思えば、仕事の醍醐味は全部、図書館が教えてくれました。

そんな松本市の図書館も今では分館が10館。子どもたちが歩いて行ける場所に分館を、とサービス拠点を広げてきましたが、市民の皆さんにとって、より身近な存在となるよう、職員とともに図書館のシンカに取り組んでいきたいと思えます。

# 松本市図書館の歴史

松本市図書館は、前身である開智書籍館の創設から今年で130年となります。

開智書籍館は、明治24年に当時の校長寄藤好美の発案で開智学校の中に設立されました。

基本的には、学校の教員のためという用途でしたが、「開智書籍館規則」に「漸次規模を拡張し他日松本文庫創設の素地を開く。」とあるように、校内の利用に限らず、一般の利用にも供する性格を有していました。

その後、大正10年には松本図書館として独立し、昭和43年に現在の位置へ移転しました。

平成3年には新築し、「松本市図書館」に改名されました。

## 図書館の開館年表

年月日	出来事
1891. 5 (M23)	松本尋常高等小学校長寄藤好実の発案で同校に「開智書籍館」として創設。
1906. 9 (M39)	「開智図書館」と改称し市民に一般公開。
1921. 2 (T10)	北深志葵の馬場武徳殿書庫を増設して移転し、「松本図書館」と改称。
1937. 4 (S12)	条例改正により「市立松本図書館」と改称し、夜間開館を開始。
1938. 7 (S13)	二ノ丸町、旧松本中学校校舎を増改築して移転。
1943. 9 (S18)	葵の馬場に再移転。
1959. 4 (S34)	大名町地方事務所跡へ移転。
1968. 1 (S43)	開智2丁目に新築して開館。
1979. 10 (S54)	1館目の分館として「あがたの森図書館」開館。
1990. 4 (H2)	西部公民館図書室を「西部図書館」として2館目の分館になる。
1990. 5 (H2)	南部公民館図書室を「南部図書館」として3番目の分館になる。コンピュータシステムを初導入。
1991. 10 (H3)	本館を蟻ヶ崎2丁目（現在地）に新築。コンピュータシステムを導入し開館。「松本市中央図書館」に改名。
1993. 4 (H5)	寿台公民館図書室が「寿台図書館」として4館目の分館になる。
1993. 5 (H5)	西部図書館が移転新築開館。
1999. 4 (H11)	本郷公民館図書室を「本郷図書館」として5館目の分館になる。
2001. 4 (H13)	6館目の分館として中山に「中山文庫」を開館。
2001. 5 (H13)	7館目の分館として島内に「島内図書館」を開館。
2002. 4 (H14)	8館目の分館として今井に「空港図書館」を開館。
2010. 3 (H22)	波田町の合併により、「波田図書館」が9番目の分館になる。
2012. 5 (H24)	10番目の分館として「梓川図書館」を開館。
2019. 4 (H31)	「西部図書館」を、「鎌田図書館」に名称変更。